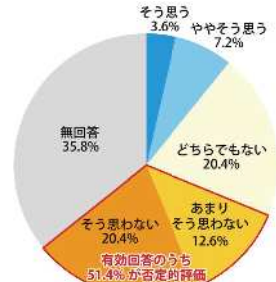


## 緑の分析 5. レクリエーションの場となる緑【機能】

## 1) 現況

- ① 身近な公園における遊具の充実度が低い評価となり、特に子育て世代の評価が低い（市民アンケート）。



身近な公園を対象にした「安全に遊べる遊具が充実している」かの問いの回答

- ② 「できると良いと思う公園」の問いでは、40歳代以下では「カフェや売店のある公園」「遊具が充実している公園」が、40歳代以上では「散歩やジョギングを楽しめる公園」が多い傾向



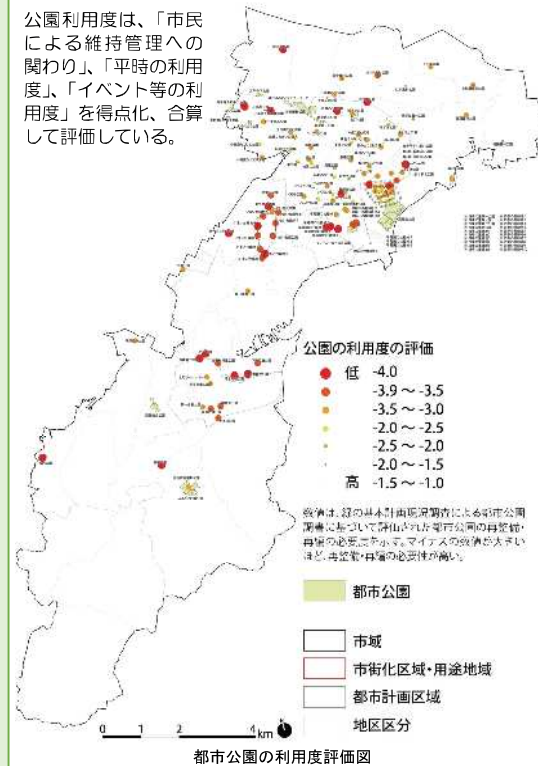
市民アンケート調査「できると良いと思う公園」の問いの回答結果（全世代）

- ③ 公園愛護会は、メンバーの高齢化や活動人数が減少する団体が多く、活動の持続性が課題

また、公園の利用度が低く、コミュニティの維持管理への関わりが希薄な公園が存在

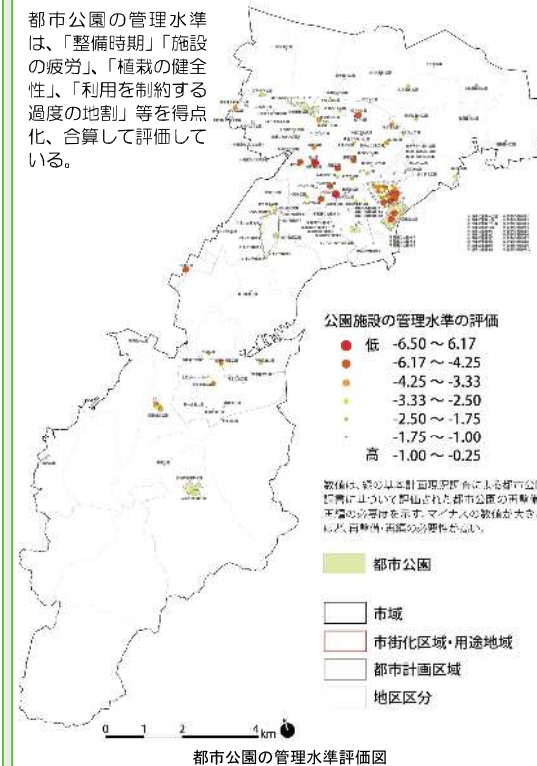
- ④ 公園の利用度による評価では、工業団地周辺の公園、古墳公園のほか、狭小公園において利用度が低い傾向がある。

公園利用度は、「市民による維持管理への関わり」、「平時の利用度」、「イベント等の利用度」を得点化、合算して評価している。



- ⑤ 本市では、整備から長期が経過している公園が多い。遊具や休憩施設の老朽化、植栽の過密化や劣化、利用を限定する地割などの個別課題を有す。

都市公園の管理水準は、「整備時期」「施設の疲労」「植栽の健全性」「利用を制約する過度の地割」等を得点化、合算して評価している。



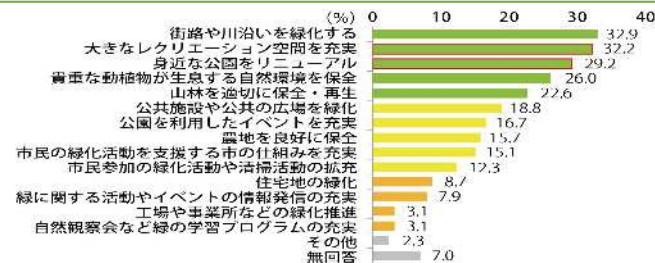
## 2) 課題

- ① 健康維持の場、魅力的な休息の場など、市民ニーズに合わせた公園（レク）機能の配置を検討する必要がある①②
- ② 民間活力や地域コミュニティの積極的な参画による持続的な公園経営が求められる②③
- ③ 利用度の低い公園、管理水準の低い公園を更新する必要がある④⑤
- ④ 市民による公園の維持活動を支援する必要がある③

## 3) 方向性（案）

- ・周辺の公共施設や民間施設との連携を図る（機能の充実）
- ・民間活力を利用した魅力的な公園づくりと持続的な公園経営
- ・多様な市民ニーズに応える公園機能の充実

- ⑥ 公園緑地分野における「今後優先すべき施策」に対する回答では、「街路や川沿いを緑化」に続いて、「本庄総合公園」「若泉運動公園」などの大きなレクリエーション空間を充実、「身近な公園をリニューアル」が上位となる。



市民アンケート調査「公園・都市緑化行政における優先すべき施策」の問いの回答結果